

# 長なしの木

夢と笑顔と「ありがとう」が  
あふれる 長幡小学校  
令和6年 7月12日  
第8号

上里の子供たちを育てる合言葉：あいさつ、返事、靴そろえ、集中した清掃（膝つき清掃）

【校長賞】提出された冊数 27冊 1冊以上提出した児童数： 18名 7月5日現在

## 因果応報

6月の全校朝会（6月24日）では、「因果応報」について、話をしました。昨年度も「因果応報」について話をしましたので、2年生以上の児童にとっては2回目となります。大切だなと思うことについては、できる限り繰り返し話をしていこうと考えています。

アサガオの種を蒔けば、アサガオの花が咲き、スイカの種を蒔けば、スイカの実がなります。当たり前のことですが、これが自然の法則です。

同様に、悪いことをすれば（悪いことの種を蒔けば）、いつか悪い結果がもたらされる、よいことをすれば（よいことの種を蒔けば）、いつかよい結果がもたらされることとなります。

誰も見ていなくても、誰からもほめてもらえなくても、よいと思うことをやり続けることが大切なのではないでしょうか。

「因果応報」と「3心」“自分に負けるな”“うそをつくな”“弱い者をいじめるな”を関連付けてとらえていただけると幸いです。

## 垂直避難

6月25日、洪水による浸水を想定した避難訓練を実施しました。1階や2階にいる児童を、安全・迅速に3階へ避難させる訓練となります。「絶対に安全」というものがないのが今の社会と言ってもよいのではないのでしょうか。いかなる状況でも、大切な命を守れるように、学校でも家庭・地域でも「できる備え」をしていく必要があるようです。

今後の雨の降り方にも十分留意したいものです。

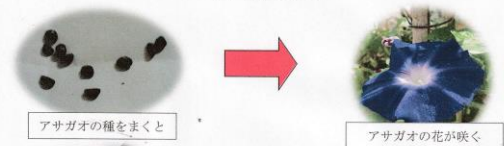


図書室に避難した3年生

## 全校朝会(6月)

夢と笑顔と「ありがとう」があふれる長幡小学校

～因果応報～



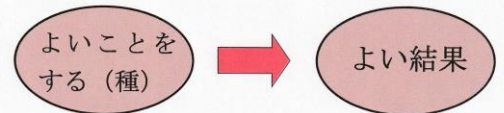
アサガオの種をまくと

アサガオの花が咲く



スイカの種をまくと

スイカの実がなる



だれも見ていなくても、ほめてもらえなくても、よいことをやり続けよう！

# “6つのふれあい”

学校応援団や地域の方々、関係機関（給食センター、JAひびきの等）の協力をいただき体験活動に取り組むことができます。



7月2日 1年生トウモロコシの皮むき体験  
「トウモロコシの秘密」を教してもらいながら、皮むきを楽しむことができました。



6月20日 6年生ジャガイモ掘り 3月に植えたジャガイモが収穫の時を迎えました。ジャガイモは、理科の教材としても活用されました。



7月9日 6年生租税教室「税金のプロ」から、税金が生活の中で役立っていることを学びました。義務教育9年間で1人当たり約884万円の税金が使われています。

# 子供の人権を尊重

昨年度の学校だより第9号にも掲載しました読売新聞の記事を再掲します。子供の人権を考える参考になれば幸いです。

【90代の現役保育士 大川繁子さん 95歳】



子供は体が小さいだけで、大人と対等な存在だと心に留めています。だから、「お片付けして！」なんて命令口調は使いません。何か行動してほしいときは、「してくれませんか？」とお願いします。「偉い」や「すごい」という言葉も使いません。上から評価するのでなく、「先生はとてもうれしいよ」と伝えます。

園では、「自由に生きる力」を育てたいと思っています。やりたいことを自分で決め、満足するまで没頭させる。その経験をたくさん積むことが、大人になって、本当にやりたいことを見つけたときの力になると信じています。押しつけをせず、選択肢をたくさん示すことが私たちの役割です。

「こういう子供になってほしい」という理想像やイメージは持たないようにしています。同じ3歳児でも、4歳児ぐらいの発達段階にある子もいれば、遅い子もいます。一人一人のいいところを見付け、その子がなりたい大人になれるよう、いい道を選べるよう、お手伝いしたいと考えています。

『名もない草も実をつける いのちいっぱい 自分の花を咲かせて』

(大川さんが好きな、相田みつをさんの詩)



44日間にわたる夏休みをとおして、やさしく・たくましく成長した子供たちの笑顔が9月2日の第2学期始業式に見られることを、職員一同楽しみにしています。